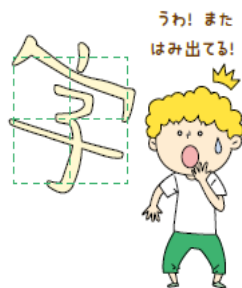


不器用な子への理解とサポート

～生活や学習におけるDCD支援を考える～

子どもたちの中には、スプーンや箸をうまく使えない、思い通りにお絵描きをしたり文字を書いたりすることが苦手、同じように踊れないなど、いわゆる「運動の不器用さ」によって生活に困りを抱えている子どもたちがいます。DCD(発達性協調運動症)とは、このような子どもたちに見られやすい発達特性です。本研修では、DCDについての理解や適切なサポートの方法を幅広い視点でわかりやすく解説します。研修の後半では、実際の事例をもとに、支援方法を一緒に考える時間も設けております。明日からの実践に役立つ内容となっておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

こんなお子さんいませんか？



日時 2026年
7月21日(火)
15:00～16:30
(14:45～受付)

会場 江戸川区
篠崎コミュニティ会館
集会室第一
【上篠崎4丁目21番8号】

講師



東恩納 拓也 先生

作業療法士・特別支援教育士SV
東京家政大学 健康科学部
リハビリテーション学科 講師

【申し込み】 ☎ :03-6231-8017 受付時間:8:30-17:30(平日のみ)

「支援者向け研修会の参加申し込み」の旨をお伝えください。申込〆切 :7月17日(金)